

科目ナンバー： BA1041

授業コード： 2210100400

講義科目名称： アートをたのしむ

英文科目名称： Art Appreciation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択必修
担当教員			
◎尾崎祐司、玉村恭、長谷川正規、安部泰、五十嵐史帆、松尾大介、兪期天			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期 【授業時間】 30時間 【担当教員】 【氏名】 ◎尾崎 祐司 玉村 恭 長谷川 正規 安部 泰 五十嵐 史帆 松尾 大介 兪 期天 【所属】 上越教育大学 (音楽) 上越教育大学 (音楽) 上越教育大学 (音楽) 上越教育大学 (美術) 上越教育大学 (美術) 上越教育大学 (美術) 上越教育大学 (美術) 【研究室】 【本学の科目区分】 教養科目 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎
------	---

到達目標	生涯にわたって音楽・美術に親しみ、豊かな生活を営むとともに、看護の仕事においても役立てられる新たな視点を得る。
授業概要	講義や演習を通して、音楽作品、及び美術作品や造形活動に親しみ、それらが自身の生活や社会、そして、人が生きることとどのように関わっているのかを理解する。
授業計画	1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：ガイダンス アート（芸術）の活動を行う意義 学習内容：講義内容全体についての説明 芸術活動が人の創造力を養ったり精神的な安定をもたらしたりする役割について学ぶ。 事前学修：音楽や美術に関するこれまでの経験（好き・苦手）を想起する。 事後学修：アート（芸術）が現代を生きる人の生活や心に果たす役割について振り返り、整理する。 担当教員：尾崎 2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：音楽をつくってみる 学習内容：漠然としたイメージを具体的な音にする表現活動をとおして創造する意義を学ぶ。 事前学修：「音」や「音楽」がひとの感情に与える影響について想起する。 事後学修：音をつくる体験を通して感じたことや、普段聴く音楽との違いについて整理する。 担当教員：尾崎 3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：日本の伝統音楽・民俗芸能の楽しみ方 学習内容：我が国の伝統音楽や地域の民謡などの特徴について学ぶ。 事前学修：日本の伝統音楽や民謡について、これまでに触れた経験を想起する。 事後学修：日本の伝統音楽の特徴や魅力について、授業内容を振り返り、整理する。 担当教員：玉村 4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：諸外国の音楽の楽しみ方 学習内容：主にアジアの音楽についてリズムや音楽の構造について学ぶ。 事前学修：外国の音楽について、これまでに触れた経験や印象を想起する。 事後学修：音をつくる体験を通して感じたことや、普段聴く音楽との違いについて整理する。 担当教員：玉村

5	授業内容 授業形態：対面 学習課題：合奏の仕組みと楽しみ方 学習内容：平易なボディーパーカッションの実践を通して、音を合わせることの意義について考える。 事前学修：音楽の授業や部活動などで行った合奏の経験を各自思い起こし、整理しておく。 事後学修：「音を合わせること」の意義や楽しさについて振り返り、意見をまとめる。 担当教員：長谷川
6	授業内容 授業形態：対面 学習課題：オーケストラで起きていること 学習内容：より大きな合奏体としてオーケストラを取り上げ、合奏を創るシステムについて考える。 事前学修：オーケストラでどのような楽器が使用されているか、調べておく。 事後学修：オーケストラという大きな集団が一つの音楽をつくる仕組みについて、理解した内容を整理する。 担当教員：長谷川
7	授業内容 授業形態：対面 学習課題：つくること、表現することをたのしむ 学習内容：小学校の「図画工作科」について学び、つくる楽しみやその意義について実際の体験を通して考える。 事前学修：これまで受けた、「図画工作」や「美術」の授業の活動を想起する。 事後学修：自身の制作活動を振り返り、つくることの意義を整理する。 担当教員：五十嵐
8	授業内容 授業形態：対面 学習課題：アートを介したコミュニケーションをたのしむ 学習内容：作品と一緒に鑑賞したり、自身の創作について話したりすることで、人と関わることを楽しむ。 事前学修：自身の制作について振り返り、過程や作品等を言葉で説明できるように整理する。 事後学修：アートを介した人や物との関わりについて振り返り、整理する。 担当教員：五十嵐
9	授業内容 授業形態：対面 学習課題：立体作品の技法や工程 学習内容：彫刻などの立体作品の技法や工程について学ぶ 事前学修：立体的な作品（彫刻・模型など）を見た経験を想起する。 事後学修：立体作品の技法や工程について、新たに理解した点を整理する。 担当教員：松尾
10	授業内容 授業形態：対面 学習課題：立体作品制作をたのしむ 学習内容：彫刻などの立体作品を制作する 事前学修：前回の授業内容を踏まえ、どのような作品をつくりたいか考える。 事後学修：作品制作を通して感じたことや工夫した点について整理する。 担当教員：松尾
11	授業内容 授業形態：対面 学習課題：デザインと生活 学習内容：日常生活で利用するデザインへの理解を踏まえ、工夫によって生活を向上させることを試みる。 事前学修：日常生活の中で目にしているデザインに関する経験を想起する。 事後学修：デザインが日常生活の中で果たしている役割について、授業を踏まえて整理する。 担当教員：安部
12	授業内容 授業形態：対面 学習課題：視覚デザインと伝達 学習内容：サインやピクトグラム、書体等による情報伝達の差異について理解し、その利用や改善について検討する。 事前学修：ピクトグラムについて調べる。 事後学修：視覚デザインによる情報伝達について、理解が深まった点を振り返り、整理する。 担当教員：安部
13	授業内容 授業形態：対面 学習課題：陶芸とアート 学習内容：陶芸の技法や工程を理解し、次回の自作に取り組むことができるように解説する。 事前学修：陶芸作品や器について、日常で触れている経験を想起する。 事後学修：陶芸の技法や工程について、授業で学んだ内容を振り返り、整理する。 担当教員：兪
14	授業内容 授業形態：対面 学習課題：陶芸をたのしむ 学習内容：陶芸の技法で作品づくりの実技を行う。 事前学修：陶芸制作に対するこれまでの経験やイメージを想起する。 事後学修：陶芸制作を通して感じたことや気づいた点について振り返り、整理する。 担当教員：兪
15	授業内容 授業形態：対面 学習課題：音楽の意味を考えながら聴く

	学習内容：音楽から何を聴き取ることによって心に影響があるのか聴きながら考える。 事前学修：日本の医療現場における音楽が果たしている場面を想起する。 事後学修：人間の生活の中で音楽や美術といった芸術が心に与える影響について、授業を踏まえて考えたことを整理する。 担当教員：尾崎
評価方法、評価基準	授業内の提出物（80％）および筆記論述試験（20％）
必携図書	オムニバス形式で扱う領域が多岐にわたるため、共通の図書を使用しない。そのため、担当教員が必要に応じて資料を配布する。
参考図書・資料等	各授業担当者が必要に応じて配布する。美術の教材費の負担がある。
受講、課題、資料配布等のルール	授業内の提出物が多いです。遺漏のないように心がけてください。
教員からのメッセージ	各授業内容が将来の自身の職務にどう生かせそうか考えながら受講できることが望ましいです。
オフィスアワー	—